館報
かわべ

発行所
河辺村公民館

編集
公民館編集委員会

年頭のご挨拶

学校給食 国土調査 を重点に

村長　稲田三一温

昭和四十三年の年頭に当り御挨拶申し上げます。

河辺村民各位には、おすこやかに新春を迎えられましたことと、お慶び申し上げます。併せて旧年中の村行政に対する御理解御協力下さいましたことを心から厚く御礼申し上げます。

今年もどうか旧年に倍して御指導と御協力をひたすらお願い申し上げます。

昭和四十二年度もあとわずかとなりましたが、夏の七号台風に続いての千魃で、本村も大変な被害を受け村全体の経済的損失は、大なるものがありますが、これらの点につき考慮致して参りたいと存じております。

すでに御承知の通り今日の流行語の様にいわれている国の財政硬直化とゆう言葉の通り県も村も、今年は特に財政面ではきびしい年と考えねばなりません。

しかしながら本村は昭和三十五年より昨年まで地方財政再建準用団体として、特別事業は限定され、農林産業開発、教育行政は他町村に比較してかなり遅れております。

この時に当つて少々無理とも考えましたが、思い切つて四十三年度の新事業として、国土調査と学校の完全給食の実施に踏切り、又社会教育の振興即ち公民館活動の活発化に重点をおくべく着々準備を進めております。

その他の諸事業は村議会議員各位とも協議して予算化して行きたいと思います。ただ本村の場合農林業による自立家庭を一戸でも多く持つべきだと考え、共同施設、協業グループ等の育成指導に、今年は力を注ぎたいと思います。

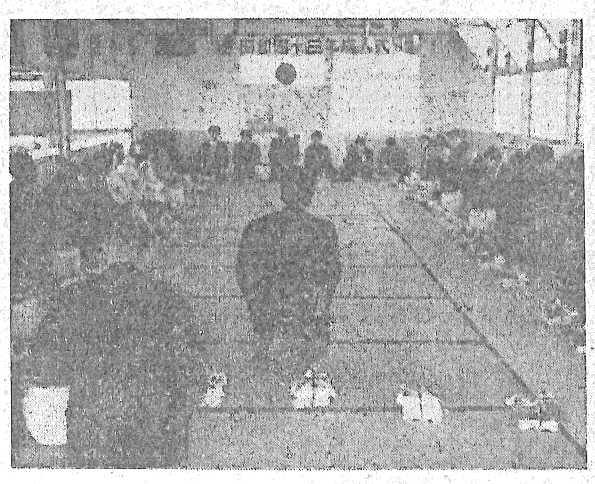
私はこれらの施設が本村の児童生徒の体位と一般的教育の向上、農林業の繁栄に、より効果的なものと考えるのであります。

その他社会福祉、環境衛生の諸問題につきましても、積極的な施策をもりこみ、又皆様方から深い関心をよせられております診療所のよりよき運営にも最善の努力を払い、もつて村民の皆様方の御信託にお応えするとともに躍進の昭和四十三年にいたしたいと存じております。

河辺村の繁栄は村民の皆様の進歩的でしかも温和な協力精神の発揮次第であると期待しております。

どうかこの上とも一層の御支援御協力を賜りますようお願い致しますと共に、村民の皆様方の御多幸をお祈り致しまして、年頭の御挨拶といたします。

昭和四十三年一月一日



昭和四十三年成人式の記念写真、上は全員成人者十七名最前列及び第二列、第三列が成人者、下は祝宴、村長挨拶のときの光景

天皇陛下御裸の行

全人類の幸福を祈る

元日四方拝の儀

四方拝の儀は天皇おみづからなさる祭典です。伺いきくところによると、真にそれはきびしく、有難い祭典なのです。宮中では神職のことを掌典とゆうが、おそらく前夜からその人達によつて諸準備が進められ三時半頃には準備完了と思われる。天皇陛下はおそらくその頃起床されて大体四時頃には真裸で新年の真清水でかけ水の行をされる。

その後装束に身を包まれて午前五時には賢所（かしこどころ）の大前で、ご自身斎主となつて前後凡二時間の行と祭典をなさるのです。

その際に何を祈られるか。その祝詞（のりと）に読まれる内容は、全世界の平和と全人類の幸福、そして日本国の平和と国民の幸福繁栄を御祈念遊ばされるのです。

聖天子ここにあり

四方拝のご儀を思うとき、私は頭が下る涙がでます。世界は広い、そして世界に百幾十の国家があり元首があり大統領がいる。しかし日本の天皇の如く、年が新しくなると、その時全くの暁暗の中に国民の多くは安らかに眠っている時です。厳寒の候、毎年かげなく一千六百有余年、裸になつて身を清め、しかも長時間にわたり、天地神明に国家国民の幸福と全人類全世界の和平幸福を祈る元首大統領があろうか。私はそのあることを読んだことも聞いたこともない。日本人は幸福である。日本の国がらの良さ、天皇の御心境……

日本国家の象徴として国民統合の象徴として、というよりも、この事実、現実をよく理解するときにより畏敬の念が泉の如く湧いてくる。

宮中での祭典は凡右様のものであつて、真にきびしく其の意義は極めて深いものがある。

「よきをとり悪しきを捨て、外（と）つ国に劣らぬ国となすよしもがな」採長補短は国としても個人としてもよいことである。国がらのよさ、天皇の慈愛のご存在……国民よ、今一度見なおそうではないか。

N

林業便り

有利な用材林経営

林木の保育管理（下刈、枝打、間伐）を充分に行い優良材の生産を計り林業収入を増やしましょう。優良材とは通直無節材で形質の良い物をいいますが普通材と無節材では製品（三寸五分の十尺柱）にした場合、スギで二、五倍、ヒノキで三、五倍位するといわれておりまして久万地方等では無節材はかなり有利に販賣されているようです。

本村の場合全面積の八三％が森林でありまして大いに林業を推進して林業收入を増やし農家所得の増大に努めましょう。優良材生産の一環としての枝打についてのべましょう。

枝打について

一、枝打の目的

枝打は木がある程度大きくなつてから下枝を切り落してやる作業で立派な材木に仕立てるため大切なのである技打の主な目的は枝下の長い無節のまつすぐな良材が得られ材の形質を良くするのが第一の目的であるが下木があるときはその成長を促し風雪害、病虫害、山火事などの被害を少くする…二、枝打に対する考え方

Ⓐ枝打と成長の関係……一度に余り強く打つと成長が胸高三寸位になる迄に第一回の枝打を行う。三尺程度次に八年生位になつた時（最低二間）材に仕上げる。

五、枝打の時期

枝打の時、幹にキズをつけてはいけないので、皮がはげにくい時期すなわち樹液の動きが止つている期間が安全である傷口を早く巻込ます点からいつて最も良い時期は早春の樹液が動く前が良い。（二月頃）傷口に日除をあたえれば巻込が早くなるので、残す木だけ枝打すれば枝打しない木が傷口に日除を与えるのでよい。

これと同じ意味で間伐の二三年前に枝打するのがよい

六、枝打の方法

㋑出来るだけ幹に接し垂直に切ること（モリ上りのない枝）

㋺枝には幹のつけねがもり上つているのがあるが、このもり上り部分（技隆隆肉）のおゝよそ中央部から真直に切る。

㋩切る場合下側の木の皮をむがない様に注意する。それには下から受け口を作つて切る。

㋥林縁の木は枝打しないこと、それは林内に風が入るのを防ぐ保護の役目をもつておる。

㋭一寸五分以上の太い枝は巻込がおそく効果が少いので切らない方が良い。

七、枝打の用具

①ナタ②鋸の細い鋸③木登用ハシゴ④プリナワ

以上枝打の概要をのべましたが、詳しくは森林組合か林業改良指導員迄御相談下さい。昨年の十一月より、各部落よりの要請もありまして部落単位で枝打講習会を開いてきましたが、尚御希望の部落は森林組合までお申出で下さい。

尚二月中旬頃の予定で村当局と森林組合共催の河辺村枝打コンクールが実施される事になつております。

ふるつて出品して下さい。

参加資格は樹令六年から二〇年生まで一反歩以上ですが、その他の諸事業は村

五〇〇本位が良い。

Ⓒ枝打経費と無節材価値の関係……経費を上廻り非常に有利になる。

三、枝打の程度

一時に余り強く打つと成長がにぶり枯枝ぐらいでは効果がなく力枝群の三分の一位迄

四、年令と回数

林地林木の成長によりことなるが余り大きくなつて行なつても意味がなく最初五六年で胸高二寸～二寸三分位の時小払をする。三尺程度次に八年生位になつた時回の枝打を行う。三尺程度樹令からいえば七、八年生に切る。…二〇年頃迄に五年おき位で三回ぐらい行つて、目的

明治天皇御製　季題集より

初雪
めづらしと思ひもあへずとけにけり
霜よりうすきけさの初雪　（四十年）

山家雪
ふきおろす嶺のあらしに山里は
きのふの雪ぞ今日もちりくる　（四十年）

車上雪
しづのをが一人ひきゆく小車の
重荷の上につもる雪かな　（四十年）

初春風
梅にふれ柳にふれてきのふけふ
風のこころも春になるらし　（三十八年）

楼上聞鶯
のぼりきて窓をあくれば鶯も
たかきにうつる声きこゆなり　（三十九年）

庭若草
蓬とも菊ともわかず春の日の
いまだみじかき庭の若草　（三十二年）

土筆
庭の面の芝生がなかにつくつくし
植えたるごとくおひいでにけり　（三十五年）

行路春月
おぼろ夜の月のよみちのくらければ
車の影もうつらざりけり　（四十年）

雨後花
しづかにもそそぎし雨はうちはれて
たわめる花に夕日さすなり　（四十五年）

せせらぎ短歌会　42・12・9

航跡のはて徐ろにうすれゆく別府港の赤き灯標　増本喜久雄
畑隅に山茶花の白さき映える老いて寂かに亡夫思ほゆ　中本交江
木枯に首をちぢめて仰ぎみる浮穴の山に雪つみにけり　関井八重
白々と明けゆく港に降立ちぬ大分の街灯雨にうるみて　上林ヨシ子
久久に師を招きこの歌会に心楽しく友とせく道　松本サナエ
永雨ふる夜勤の夜半に只　人犬の遠ぼきゝつついねる　花岡ミヤ子
碧づみてたたえしダムの水の面に山影映りて小波のたつ　名本住加
立ちこめる朝もやはれて山峡は紅い色に連りわたる　松本吉久
死にたいと思いしほどに悲しめど膝にすがりてなく父母もなし　読人不明
大根を並べ乾したる陽だまりに羽虫の群は高く飛びゆく　佐伯君子
露さえも結ばぬ日照りに力なくアゲハ畦毎おりてゆくかも　名本勅滋
丘をゆく夜明けの汽車の窓のべに憂うる雨のふりそめにけり　河本キヨカ
窓をうつ雨のしぶきに目ざめたり夜舟に立ちし人を案じぬ　稲森ミユキ
そそり立つ龍巻地獄の湯の柱すごき爆音時に休めり　泉谷信義
冬がれて庭の落葉の片隅に妻ののこせる雪割草もゆ　船田春子
今日よりは偽る事こそ幸せの病の母に何とつかえん　清水孝
噴煙の棚引くかなた外輪の山山秋の色深みゆく　久保七郎
姙りし娘がのろのろとねころぶをどうしても妻はきに入らぬらし

新年を迎えて

年頭にあたり村民皆様のご健康とご多幸を願い、郷土の明るい発展を念願いたします。近頃新聞紙上等で「ふるさと再発見」とゆうことが強調されておりますが私達もこの際いろいろな角度から、新しい視野と感覚をもつて郷土の実態、家庭生活のあり方等について再検討する必要があると思います。

そこには限りない郷土の良さがあり美点があります。滅びゆく山村ではなく成長してゆく山村の姿があります。私達の村づくりは私達の熱意と努力で完成せねばなりません。

「再発見」の意義をはつきりと心につかんで、村づくりの原動力にしたいものだと考えます。

さて今年は明治百年記念の年でもあります。

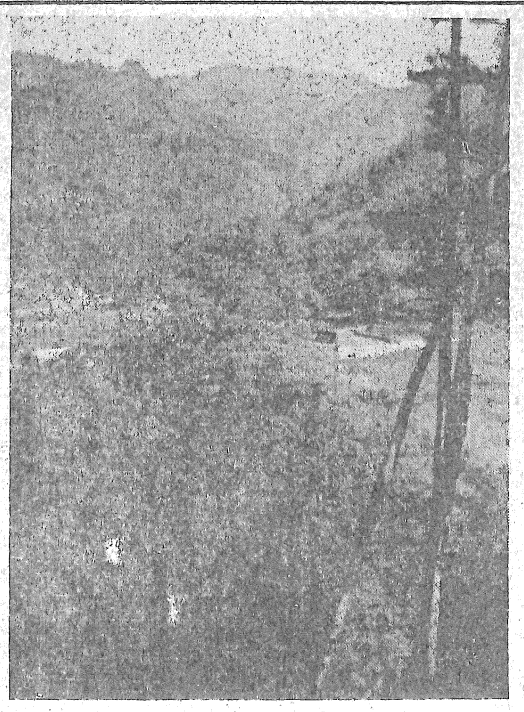
十月二十三日で明治百年を迎え政府はこれを記念して全国民的な祝典を挙行する外、明治百年記念にふさわしい有意義な各種の行事、事業の実施が計画されております。

佐藤総理大臣は「明治百年記念の年を迎えて」と題することばの中で「政府が明治百年を記念する趣旨は、単に先人を礼賛し、その事績を謳歌しようとするものではなく、わが国の近代的百年の歴史を通じ、その経験と教訓の中から学ぶべき点は進んで取り入れ、二度と繰り返してはならないあやまちは、謙虚に反省して世界的な視野のもとに、新世紀に臨む決意を確固たるものにするためです。今年はわが国の近代化一世紀の歴史が次の世紀に移る記念すべき年です。この際次代のにない手である青少年に将来への限りない希望を託し、新な創意のもとに新しい世紀に向つてスタートを切る覚悟を固めたいと思います。」と述ておられます。

公民館といたしましても、この趣旨を体して、意義ある記念事業を計画いたし、皆様の御協力を得て完遂いたしたいと考えて立案中でございます。詳細につきましては後日発表させていただきますが、皆様の特別のご援助ご指導をお願いいたしておきます。

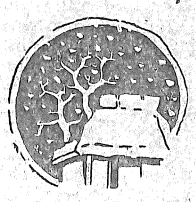
雪に暮れ雪に明けて迎えました意義多き新年が最良、最善の一年でありますよう祈念いたしましてご挨拶といたします。

館長



出合赤岳け山より鴨谷の一部を望む

農業改良普及所便り



作物

◎米の増収は先づ種子の更新から

籾種子の自家採種を連年使用すると、品種特有の純度が低下し、品質不良となり五年目には一割も減収となります。

新しい種子でも三年栽培したら四年目毎には更新することが大切です。

昨年度から村の補助金が出されて（一キロ当り百円宛）いるので、良い籾種子が安価に入手できます。

各部落で話し合いをされ所要数量を取りまとめの上皆さんの農協、農家の経済を守つてくれる河辺農協へ申し込まれるようお奨めします。申込期限は二月二十日までとなつています。

◎水稲の新品種の奨め

河辺村の水稲の品種分布状況を見ると、その八割までが農林二十二号となつています。山間部の田にとつては捨て難い品種でありますが、長稈のため（特に燐酸成分の不足土壌では更に草丈が伸びる）倒伏し易い欠点があり、穂重型品種で分けつ数が少なく、本村の稲作上不可欠の条件である目的茎数の確保の観点から見ると、好ましい品種とは考えられません。

昨年度の優良品種比較展示圃の成績から判断して、本村に適する品種を二、三種類紹介いたします。

今後急速に普及され、のびると思われる品種には、一昨年県の奨励品種になつた中生種の「クサナギ」、「コトミノリ」と、早生種「日本晴」があります。

①日本晴

この品種は愛知県農試の育成による早生種です。

ヤマビコより早い品種で各県とも成績が良く、本村でも寺藪と日の平で試作したところ予想以上の好成績で、農林二十二号よりはるかに多収性であることを確認いたしました。

特性としては、イモチ病に耐病性が強く、短稈で多収性品種である。但し多肥栽培による倒伏性にやや難点があるけれども、本村の地質土性、施肥慣行から考察する時、この点は問題とするには足りない。

本村全域に適する良い品種であることを附言する。

②コトミノリ

強稈多収で、耐病性もあり、品質もよく今後、愛知旭、ミホニシキ、アケボノなどに代る品種す。

③クサナギ

セトホナミとよく似た性質をもつているけれども、耐肥性の点で安定しておるので、今後セトホナミに代つて普及する品種であると考えられます。

④黄金錦

この品種は、中山間、山間地帯向けの安定多収性であり、実験用種子と四〇キロ（四斗）農協に準備してあります。

この外農協には既に、日本晴五〇〇キロ、コトミノリ二〇キロ、クサナギ二〇キロを、各位の試作奨励用として準備して、御申込みをお待ちしております。

やさい

◎再び反収十万円の葱作りのおすすめ

このことについては、本館報第三号に詳細に説明しておきましたが、その後、瀬戸内のゼラニューム香料専門の曽田工業KKとの契約栽培が具体化して来ました。大洲市に乾燥施設を準備して、農家からは生葱を買入れる（現金支払）方法も検討中ですが、本村では椎茸乾燥場や、タバコ乾燥場を利用すると、一～二月の農閑期の労働報酬を稼ぐ点からも、乾燥葱にして出荷する方が得策でしよう。何れにしても三月下旬には播種する訳ですから、二月中に確定栽培面積を、農協へ報告して下さい。

乾燥葱一キロ単価は五五〇円と決定されました。

果樹

◎カキ、クリの剪定

剪定の適期は厳正に言うと一月中ですが、栽培農家では他の作業との関係や、積雪などの為にまだ剪定、整枝が終つていないところが多い。

柿、栗は落葉中で一見休眠の感を受けますが、地下部の根はもうそろそろ活動しはじめ、樹液の流動が行なわれるので、現在まだ終つていないところは急いで剪定をすることが大切です

尚、前号でも触れておいた通り、密植園の間伐は思い切つて実施して下さい。

◎施肥

十二月から一月に施肥を終つているところはよいですが、まだ終つていないところでは、二月上旬までに終るようにすること。

◎落葉果樹の植付

㋑植付時期

苗木の落葉後なるべく早く秋植がよい。春植は活着が悪い。何かの都合で秋植不可能の場合は、雪の中でもよいから早く植付するようにしたい。

㋺根を乾かさないよう注意する。乾いた場合は水に一時間位つけてから植付すること。

㋩根は自然の姿に四方に広げて土と密着するよう。

㋥深植は一生の不作です。

接目が地上に出るように

㋭植付後は乾燥防止のため敷草、盛土をしておく。

㋬植付苗木は五〇～六〇センチメートル基部を残しておくこと。

村内の栗、梅の車枝が多く、ふところの峡い樹形になり、結果量を制約している禍根はここにあることを、肝に銘じてほしいものです。

（愛媛県主査石山正家）

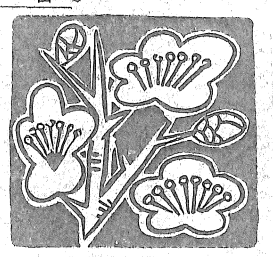
花つくりで命がのびる

庭に一本の松の木がある。まがつてくねつて、幹の古びた皮、枝振りの面白さ、そこら辺に松の緑りとふるさびたゆかしさが湧いてくる。家の古さを語り、幾星霜の世の移り変りを話しかけているようでもある。

花は端（はなはし）から出たのだとゆうがその詮索は後にして、花は時間的には短かい何日かであるけれども美しい花はやはり美しい。

花びらの色の美しさ形のよさ、香りのよさ、それぞれに花特有のよさをもつている。花は人の心のいらだたちさをなごめて、楽しい世界へと導びいてくれる。

芽だちの頃から朝夕水をやり肥しをやり虫をとつて世わしていると、いつの間にか葉も枝も整うてきて、やがて枝の頂きにつぼみが付いてくる。その頃になると花の咲くのがまち遠しくなつてくる。こうしてせわしておると動物を飼うのと同じように愛情がわいてくる



その間につぼみが開いて露ばんだいきく〳〵とした花が咲く。このときの花の美しさなつかしさは又格別のものがある。こうした感じはせわを続けた人のみに与えられた特権でもあるように美しさが身にしみるものだ。生命の延ぶような思いがする。

四季の花を作ろう

日本では四季の移り変りがハツキリしているので、四季時折りの変つた花が古食卓の中央に一輪の花がさしてあり玄関を開くと一鉢の盆栽がおいてある。このことがどんなに家の内をもの心を明るくする快よい感じを与えるか。読者の皆さんがご経験のことと思う。花一杯運動は遇然に起つたものではない。人間の本性に由来して、自然の欲求として都会も田舎も今盛に展開されている。N

一室に一りんの花

来から眺められる。近頃では西洋ものも随分はやつてきて、日本物とは又別に変つた奇抜な姿の花や葉の面白いものが数々ある。日本ものも西洋ものもそれ独特のよさがある。只西洋ものの中には寒さに弱く温室でないともたないものもある

花や姿をみて美しいと感じる美感とゆうものは、人間の心の中にそれを感じとるだけの能力があるからです。犬や猫は美感とゆうものはありません。そこが人間様と動物との違いの一つです。猫が観光に行きよつたとゆうような話しは昔からありません。美の感得は人間独自のものです　子供は美感がなやすく狭いものです。色盲でない限り子供は赤黄はよく心を引くものです。美感が上達してくると白の花色が最高だといわれるが子供には興味がありません。白の花は純潔であり高貴のにおいがして色のあわれさが潜そんでいる。白花はよいものだが、どの種類でも白花の木は作り難いうらみがあります。

新しいことばの年中行事

村の年中行事

十五日づつの小寒大寒が終る日が節分です。五日の立春とは春が立つた来たとの意味です。この日を境として段々暖かくなり始めます。雪が降つても消やすい様です。

節分には夜豆まき、鬼はらい、役落しが行われる。鬼はらいは大豆を生のない様によくいつて、それをお恵美須様に供え（升で）それからその豆を福は内ノ～鬼は外ノ～と大声で家の内と外へまく。残りを皆んなで食べる。役落しは、いつた豆を人の年程数えて紙に包み、小銭を入れて道辺へ行つて捨てる。うしろを向き返らぬ様にして家に帰る。役落しや豆まきは都会も田舎も行われており全国的です。次に節分には飾り物をする。之は家の出入口神棚等へ、かじ柄の先へいわしの頭をさし、又、たらの木を小さく割つていがのあるあらりぎの葉と豆しばをはさみ束ねて飾る。

鬼は、いがやくさいので寄りつかず、家の内は福の神が安心しており思う存分に幸を人間に与えるとゆうものらしい。

節分の夜作占ないとゆうのをやる所がある。豆しばの葉を一枚とり、豆よし、とゆうてあつ灰の中へくべるとパチ～とゆうその音で豆類穀類の吉悪を占なうわけです。又あまんぼを作つて神棚や出入口におくなどもする。

世界一古い国日本

十一日　建国記念の日休日

昨年から定められた旗日です。第一代神武天皇即位の日と日本書記（一、二〇〇年前の本）にある。即ち二六二八年前になる。

さてこの日の制定には非常にもめたが、法律では、「建国をしのび、国を愛する心を養う。」と規定している。古くて遠い建国だからわからないのも当然で百年前の事さえわかりにくい世の中に二千七百年近くも古い事が詳しく分らないはずです。とにかく世界一に古いことは事実だ。

なぜこんなに建国が古く、しかも隆々として続くのか主権者であつた天皇が代々よかつた。国民も小国土ながら民族一種であり、よくまとまり国を守つて来た。大陸から隔たり外敵を防ぐのにも都合がよかつたのであろう。主権領土国民この三拍子そろつてよかつた。国が滅びて国民の幸せはない。国を亡ぼすのも栄えさすのも国民の責任である。

二六日　春日神社の春祭

祈年祭である家内安全五穀豊作防災防火を祈り、午後はお神楽がある。

山林火災ご用心

三月　やよい

一日かのえうま・旧二月大

三日です。全国緑化運動が始まる。尚二月二九日からは春の火災予防運動が実施される。特に山林火災に注意したい。

三日　新ごのひなまつり。

豆いり、ひし餅、をひなさんに供えての美しい行事お人形を飾つて女の祝いもする。桃の節句ともゆう。桃の花咲く頃は新では早すぎる。旧暦の方の三日は新の三月三十一日だ。その頃には咲くでしよう。四日はひなあらし。野原に出て、重詰めを開き組内こぞつての「おこもり」、ぽか～暖くなる青草の上でのうたげもよろしかろう。

一七日　彼岸の入り

お彼岸は七日間です。

「暑い寒いも彼岸まで」この頃から暖かい春の陽ざしをうける様になる。菜の花が黄色く畑を色どり、青草が目立つてくる。

二〇日　春分の日。休日

彼岸の中日ともゆう。彼岸とは濁悪の現世から極楽浄土のあの世の意味や「ねはん」の世界をさしている墓参や法要が営なまれる。法律では春分の日を「自然をたたえ、生物をいつくしむ」とある。日本の四季は島であり海流の関係などで三ケ月間の区切りがはつきりしている。この頃の大自然は弥生（やよい）の月の名の如く草木がにわかに生気を取り戻して或は芽ぐみ、或は花と咲く。花暦を数えてゆくと、梅桃桜藤あやめの順に日本の国土一杯に花が咲く。「花とさき実となるみれば草や木もなべて務めはある世なりけり。」

四季時折りの美しいしとねの上にねおきする日の本の国びとよ恵まれたこの大自然と生物とをいつくしんでいるかどうか。……今日は夜昼の時間が全じです。N